

中学校見学会

2022.12.5

毎年、10月下旬に「中学校見学会」が行われる。4月から野田中学校に入学する予定の小学6年生が、中学校に来て話を聞いたり、授業を見たりする。部活動の様子も参観する。野田中学校の場合は、野田小学校からそのまま子どもたちが入学してくる。加えて、引っ越しなどの事情により野田小学校以外からも数人の子どもたちが入学するようになる。

最初に、校長先生の話がある。昨年度は、約120名の小学6年生を前に、国語の授業をした。見事に失敗した。反応がわるすぎた。仕方なく、生徒会役員の中学1・2年生にも参加してもらったが、こちらはなかなかいい意見が出てきた。そのまま、授業をやりたくなかったほどだった。そもそも体育館で授業をするという設定に無理があったのかもしれない。

今年度は、昨年度の反省を生かして、企画を考えた。校長先生の話なのだから、素直に話せば事は足りる。だが、そうはしたくない。9名の生徒会役員に活躍してもらうことにした。いつも思うのだが、役員は9名もいる。だが、会の進行をしたり、あいさつをしたりするのは、数名に限られる。会場設営などでは活躍しているが、人前に出て話す経験をどんどんさせたい。

事前には何も知らせない状態で、9名の役員の生徒に前に出してもらった。私の方からインタビューをした。「中学校に入ってびっくりしたこと、あるいは少し驚いたことは何ですか」「野田中学校のいいところはどんなところだと思いますか」「中学校に入ってできるようになったことは何ですか」「小学校のときよりも成長したなあとと思うことはどんなことですか」「小学6年生に今伝えたいことは何ですか」

9名の役員の生徒には、それぞれ持ち味があり、気の利いたことを話せる生徒、何を話したらいいのかまとまらず困ってしまう生徒、無難なことを話す生徒など様々である。決められたことをきちんと話せる生徒もいれば、アドリブが利く生徒もいる。

学校紹介も昨年度までは、大型スクリーンにプロジェクターでスライドを映して説明するというお決まりの方法だった。これだと、やはり活躍できるのは数名である。そこで今回は、野田小学校は4学級あるため、4つのコーナーを設けて、そこに役員の生徒が2、3人ずつ入って進めることにした。その方が互いの距離も近くなり、話しやすく、質問もしやすくなる。

小学6年生にわかりやすく伝えるために、用意したのは大きめの画用紙である。手作りである。〇×クイズもある。役員の生徒は身振り手振りを交えながら、生き生きと説明している。何でもかんでもパワーポイントがいいわけではない。

今回の中学校見学会では、9名の生徒会役員は大活躍である。こういった機会をもっと増やしていきたい。9名の生徒たちが生き生きと活躍できたのは、すばらしい態度で話を聞いてくれた小学6年生のおかげである。この子どもたちが、来年の4月に入学してくるのかと思うと楽しみである。その頃には、9名の役員たちも、さらにパワーアップしていることだろう。そうなるように、これからも、どんどん仕掛けていきたい。